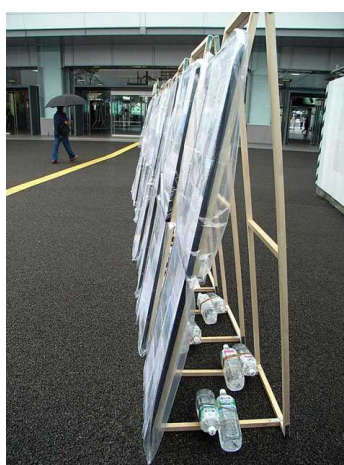


雨二モ負ケズ 風邪二モ負ケズ カーフリーデーふくい2008



3 ページ関連記事

活動報告

- 9月21日 カーフリーデーふくい2008
- 26日 事務局会議
- 26日 福井市地域生活交通活性化会議
- 30日 サミット実行委員会
- 10月3日 事務局会議
- 4~5日全国まちづくり会議 2008(北海道・恵庭)
- 7日 ミーティングテーブル(福井市)
- 10日 例会・理事会

今後の予定

- 10月11日(土) サミット全体打合わせ
- 14日(水) サミット実行委員会
- 17(金)~19日(日) 全国路面電車サミット福井大会
- 24日(金) 事務局会議
- 31日(金) 事務局会議
- 11月1(土)~2日(日) 全国バスマップサミット(新潟)
- 7日(金) 事務局会議
- 14日(金) 事務局会議
- 21日(金) 例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

日本文明世界最強の秘密 増田悦佐

PHP 研究所 1600円+税 ISBN978-4-59-69631-7 C0034

カバーには大きな日の丸がついていて、書店に積んであっても自分の思想が覗き見されるようで手に取りにくい。表紙で損をしている。しかし、内容はすばらしい。私の尊敬する上岡直見さんや杉田聡さんが批判されているが、根本の考え方は同じ。経済学的に正しい政策をやらうということである。

ひとつ気になったのは、「鉄道による貨物輸送は、積み替えにエネルギーがかかる」として、貨物はトラックが最適と決めつけている点である。私は、エネルギーがかかるのではなく、時間がかかり、鉄道で効率的な輸送単位まで荷物がそろのを待つと、さらに時間がかかるというのが真相と思う。コンテナごとにICを埋め込み、統合管理する技術等の進歩は著しく、エネルギー価格の上昇幅によっては、鉄道貨物が担う分野はあると思われる。

とにかく広い分野の知識を大都市集中政策とそれを支える鉄道整備を正しいと説明するために動員しており、それを可能にしている日本人の文化を褒め称えている。そういう意味では右翼的かもしれないが、おおむね論旨は通っている。地方鉄道存続運動家には不都合な真実も散見されるが、いずれそうした理屈を真似る人が出てくるだろうから、それに反論せざるをえない立場になる人々にも是非読んで頂きたい。

(財)国土技術研究センター調査第3部長 美濃部 雄人 Minobe Yujin

第5回福井市市民協働推進委員会

日時：平成20年9月17日(水) 13:30～

場所：福井市役所 130会議室

委員：木村委員長、蓮花副委員長、吉田委員、山下委員、薬袋委員、鎌田委員、岡嶋委員、

協議内容

- 1) 協働に向けたミーティングテーブルについて
- 2) 評価専門部会の設置について

議事1) 協働に向けたミーティングテーブルについて

ミーティングテーブルに趣旨は、市民と行政が対等な立場で率直に意見を交換する場を設け、協働事業に向けた機会の拡大を図ることや、企画の段階から共通のテーブルで話し合うことにより双方の意識醸成を図ることとなっています。

そこで今年のミーティングテーブルへの企画提出は「市民発」が6つのテーマについて7団体11提案、「市役所発」が10事業に対して4つの事業、5団体から4提案が提出されました。この企画提案は10月の3日から10日の8日間で各団体と行政担当課および協働推進委員が企画内容についてミーティングを行います。その後、協働推進委員会が開かれますが、今年からは市長・総務部長・財政部長・担当部長・市民生活部長を交えて更に協議を行って決定をする予定です。場合によっては企画提出団体が出席する場合があります。

本来、この企画書は市の施策に沿った内容を想定しているので、市が主催してすべき事業として企画が組み立てられているか、その説明ができるかが重要なポイントになります。

ROBAの企画は「モビリティウィークとカーフリーデーふくい2009事業」として市民発の企画書を提出しており、10月7日(火)15:30～ミーティングが設定されています。

議事2) 評価専門部会の設置について

この部会は、市民協働の推進と市民活動の促進を図っていく条例の目的の施行から4年を経ちました。その間にどの程度協働が達成されたか、また本来の意味での協働がどの程度行われているかについて検証していくという目的で、協働推進委員会の専門部会として評価専門部会が設置されました。

この部会は木村委員長をはじめ、岡嶋委員、鎌田委員、薬袋委員、畑の5人で協議を行っています。その第1回専門部会が9月29日(月)9:30に開催されました。

協働推進の達成度や協働意識がどこまであるかは、行政と市民側の双方に当てはまることで、それをどのように評価していくか...どこまで評価していくか...ということで協議を行いました。そこで、今年はずまず市内の協働意識調査を行ってはどうかということから、改めて調査を行うのはなかなか難しいので、毎年年度末に市役所が行っている「市民協働の進捗状況に関する調査」の調査項目を加筆修正しながら、市内向けの調査を行っていくことで決まりました。

次回の評価専門部会は10月下旬で予定されています。

以上

(はた みゆき)

モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2008第1弾9月21日実施報告

朝からぼつぼつと小雨がぱらつく中、JR福井駅東口広場にある北陸新幹線福井駅部高架の南側を使って、モビリティウィーク&カーフリーデーふくい2008が開催されました。突然の気まぐれ台風の接近で、国内他都市でも雨の中の開催となり、名古屋市では中止されるなど大変だったようです。

カーフリーデーパネル展は小降りになったころ(10時ごろ)を見計らって展示を開始し、再び降り始めたころ(13時ごろ)にはパネルをビニール袋(実は護美袋)に入れて小雨の中で展示しましたが、本格的に降り始める寸前の14時半ごろには、とうとうあきらめて撤収せざるを得ませんでした。でも、駅前広場の人通りの多いところだということもあり、多くの方が足を停めてパネルに見入ってくれたり、メンバーの説明に耳を傾けてくれたりと、関心を示してくれました。

また、自転車展はサカイサイクルさんの協力を得て開催しましたが、年配の方にはチタン製の電動機付き自転車に関心が集まりましたが、車体の軽さやこぎ出しの軽さにびっくり、値段を聞いてまたびっくりという、文字通り「びっくり自転車展」になりました。

また、MW&CFDF2008第2弾の予告も、エコプランふくいさん、福井市パートナーシップ会議さんと一緒に、チラシなどを配布して実施できました。(写真は表紙を参照のこと)

モビリティウィーク&カーフリーデー2008第2弾(10月17-19日)

第9回全国路面電車サミット2008福井大会

カーフリーデーパネル展

カーフリーデー・ハチドリ計画2008

カーフリーデー環境ツアー(秋の休日 自転車を電車に乗せて三国へ行こう)

なお、イベント期間中に実施を検討すべき恒久的な施策として、以下の項目がヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー本部より提案されておりますが、来年度の本格的な参加に向けた、行政や関連団体との連携した取り組み内容の検討を始めていきたいと思っております。(報告:林 博)

モビリティウィーク&カーフリーデーの恒久的な施策事例

新規あるいは改善した自転車関連施設

- ・自転車ネットワークの改善(自転車走行空間の新設、延伸、改修、案内システム等)
- ・公共レンタサイクル・自転車共同利用システムの整備
- ・自転車関連施設の改善(駐輪場、駐輪ラック等)

歩行者優先化

- ・歩行者空間の新設・拡大
- ・インフラ施設の改善(新しい歩行者用橋梁、舗装、交差点、道路標示等)
- ・緑道の新設・拡張

公共交通サービス

- ・公共交通ネットワークの改善・拡大(公共交通優先レーン、停留所の新設、新路線、公共交通専用道路等)
- ・公共交通サービスの改善・拡大(急行便、運行頻度等)
- ・環境にやさしい公共交通の車両の使用
- ・公共交通ネットワークの改善の

ための新技術の導入

- ・様々な公共交通利用の統合的利用の開始
- ・すべての人々の移動自由の拡大交通の静穏化とアクセスコントロール
- ・学校近くでの減速プログラム
- ・平面駐車場面積の縮小
- ・パーク&ライドの新設
- ・新しい交通規則:走行と駐車
- ・新しい住宅地の改善

アクセス性

- ・視覚障害者誘導用ブロック整備
- ・車椅子用スロープの設置
- ・歩道の切り下げ
- ・歩道の拡大
- ・交通信号機の音声案内の普及
- ・物理的バリアの除去
- ・バリアフリー計画の実施
- ・移動制約者対応施設の整備
- ・自動車の利用と所有の新形態
- ・車の合乗り、カーシェアリング
- ・インターネットサービスの開始
- ・責任ある自動車利用(エコドライブ等)

- ・クリーンカーの使用
- モビリティマネージメント
- ・通勤トラベルプランの実施
- ・通学トラベルプランの実施
- ・モビリティセンター・ネットワーク情報センターの設置(例:トラベルプランナー)
- ・意識喚起キャンペーンの実施
- ・教育ツールの作成
- ・地域の関係者との協調による都市交通計画の改善
- ・雇用者へのインセンティブ、ボーナスの用意
- ・中心市街地への恒久的なアクセス制限
- ・業務地あるいは他地区への複合的な交通手段利用の実施
- ・集団バス通学・集団自転車通学の開始
- ・公共空間での大気測定情報提供の拡大
- ・市民の意見・アイデアを受け入れる公式窓口、調査の組織化

平成20年度 第3回福井市地域生活交通活性化会議

日時：平成20年9月26日 13:30～15:00

場所：福井市役所 8F会議室

委員：座長 川本福井大学准教授

自治会連合会、連合婦人会、老人クラブ連合会、PTA連合会、ROBA、福井鉄道自動車部、京福バス、まちづくり福井、光タクシー、えちぜん鉄道、県バス協会、県交通運輸産業労働組合協議会、福井運輸支局、県・総合交通課、市・交通政策室

目的：平成18年10月度道路運送法改正により、地域の関係者が地域交通を検討する「地域交通会議」のしくみが導入。それに従い多様なニーズに的確に対応した運送サービスを提供し、活力ある地域社会を実現すること。(主にバス交通に関する会議)

議事：案件 すまいるバスルートを利用した深夜路線バスの運行(京福バス)

すまいるバスの南ルート(木田・板垣方面)と東ルート(城東・日之出方面)の2運行系統を京福バスが路線バスとして20年1月～3月の試験運行。

運賃は200円均一(小児・身障者100円)

予定運行時刻 南ルート：駅前商店街 22:00 22:30 23:00 発

東ルート：駅前商店街 22:15 22:45 23:15 発

運行日は毎週金曜日のみとする。(祝日は運休)

決定 1運行7人以上の目標に達せず廃止する。(9月26日が最終)

案件 福井市内と一乗谷朝倉氏遺跡周辺地区への観光客の輸送について(しろはと交通)

朝倉氏遺跡周辺への移動手段の多様化をはかり利便性向上に資する。福井市中心部(ホテル集積地域)から朝倉氏遺跡一帯を結ぶジャンボタクシーによる区域運行型運行である。8:30から13:30までの間毎時1時間毎で旅客の要望する時間。1運行4時間程度。旅客がいなるときは運行しない。

運賃は大人 3,600円 小人 1,800円

20年4月5日～20年10月26日まで試行運行

決定 10月27日から本格運行実施

案件 地域特性にふさわしい交通について（地域との協議状況）（福井市）
海岸地区（越廼、国見、鷹巣、殿下地区）、美山地区、清水地区の地域移動
について、地域住民と協議を進めていく。

8月上旬より、各地域におきまして、住民の方々と対話を進めた。

越廼地区 平成20年8月19日

美山地区 平成20年8月26日

清水地区 平成20年8月28日

照ちゃんの気になる風景 part10



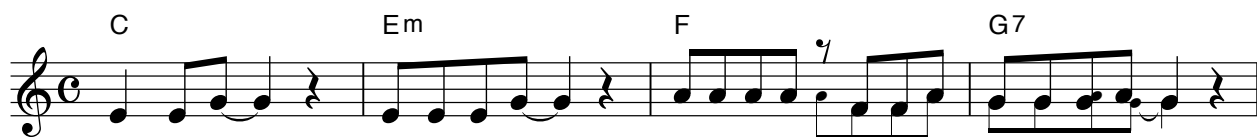
福井市森田地区最北部にあり、坂井市との境界にある照ちゃんが作っている田んぼです。この蝶は刈り取り準備のために、雑草取りに入ったら見つけました。本当はもう1匹、同じ雑草に止まっていたのですが撮影寸前に逃げてしまいました。

例年だとハサカケ（自然乾燥）のため、田んぼにはハサが組み立てられているのですが、準備に入る前に腰を痛めてしまい、今年はコンバインで刈り取ってもらいました。汚染米騒動で世間がさがわしい昨今、自分で作ったコメが食べられる幸せをかみしめている照ちゃんでありました。

ふるさと電車に乗って

詞 内田 桂嗣

曲 林 照翁



ピ ン ク — い ろ し た — さ く ら の ト ン ネ ル ぬ け る と
 み ど り — あ ふ れ た — わ か ば を ゆ ら し て は し る —
 あ か く — そ ま る — さ と や ま に ゆ う ひ が し ず む —
 し ろ い — ゆ き の — こ う せ ン せ に う け て —



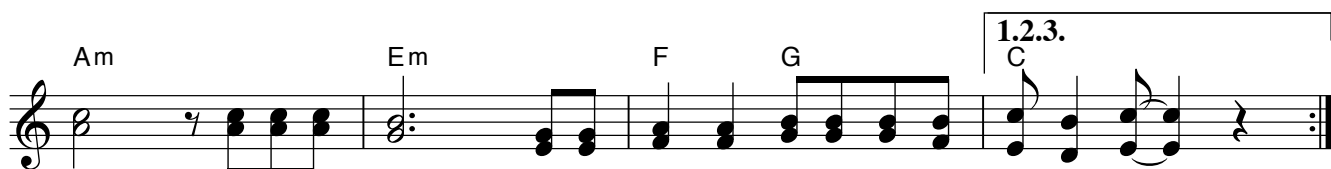
お さ な い — こ ろ が — な つ か し い
 う み の — し お か げ — あ わ い は つ こ い
 あ の ひ と — お な じ — は は の お も か げ
 え が お の き み は — ぼ く を て ら し て る



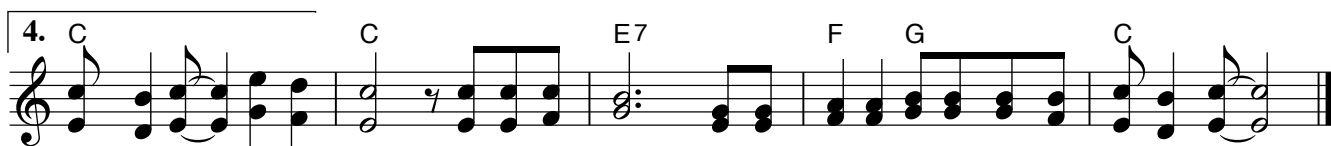
あ す わ が わ に ひ び く — で ん しゃ の あ し お と
 き み に さ さ や く — で ん しゃ の な か で
 げ ん き で い る か — い な ほ の か お ぷ
 み ん な の ゆ め を — の せ て き っ ぷ に



み み を す ま せ — ば — と お く — な が れ る — は る
 は な び の た い こ で け さ れ て — さ っ た — な つ
 い つ ま — も — ま っ て て — お く れ — あ き
 い つ も い っ し ょ だ — こ れ か — ら も — ふ ゆ



に は し る よ ふ る さ と で ん しゃ に の っ て —



の っ て ま ち を は し る よ ふ る さ と で ん しゃ に の っ て —



4日(土)小松空港から新千歳空港・JRを乗り継いで恵庭RB(リサーチビジネス)パークセンタービルへ着いたのが午後1時。展示物の準備をあわただしく行い、終了後すぐに自己紹介が始まりました(写真)。

今回は、森田地区でのROBA協働事業「車に頼らない人にやさしいまちづくり」の紹介を中心に行いました。(写真)。交通関係では、岡山RACDAと他2団体と少しさみしい展示会場でした。



その後、会場を移動し「市民が活躍する交通まちづくり」シンポジウムを行ないました。司会・パネラーは下記の皆さん。

司会/岡 将男(岡山・RACDA) 写真 左から

パネラー/鈴木 文彦(交通ジャーナリスト)

林 照翁(ROBA)

松本 公洋(交通倶楽部ゆうらん)

吉岡 宏高(LRTさっぽろ)

議題は札幌市で起きている「路線バスの補助制度をめぐるバス事業者と行政の対立」の具体例を参考に、今後の公共交通のあり方を討論しました。私からは、えちぜん鉄道復活の概要や

ROBAの活動に入る動機となった京福バス春江線の廃線概要などをお話しました。

討論の中で、鈴木文彦氏の発言が興味深く、「バスの輸送ピークは昭和44年~5年頃。それ以降右肩下がり、現在はピーク時の約40%。それも都道府県によってバラツキがある。利用者が多いの是一位は神奈川県(ピーク時の約8割)第2位は京都府(観光客の利用が多い)第3位長崎県(坂が多く、自転車が利用しづらい)。鳥取・島根などはピーク時の1割で、事業として成り立たない。全国で約8割が赤字。このような事態になった理由としては 事業者が努力を怠ってきた(黙っていてもお客がいた時代があったため) 行政が事業者任せ 住民も事業者・行政に任せきりだった。」これからは交通対策から交通政策への転換が必要というまとめで討論を終えた。5日の北海道新聞では、4日の夜に行なわれた札幌白石地区・バス廃線問題の行政による住民説明会の記事と今回のシンポジウムの記事がアベックで掲載されました。

5日(日)の午前中は、その札幌白石地区で行なわれた住民学習会に講師を務める岡氏とともに鈴木氏・松本氏・林も同行し公共交通のありかたを議論してきました(写真)。これからは「バス路線存続白石の会」は発展的解消し、使いやすいバス路線構築に向けてバス事業者・行政と話し合う会を作っていくそうで微力ながら福井からも応援したいですね。

報告/林照



に頼らない人にやさしい街づくり **コラボ**

森田地区文化委員会 080928 報告 林照



本日9月28日(日)は9月5日に森田地区全戸に配布した「公共交通アンケート」のデータ投入作業日。午前9時に文化委員会14名ROBA3名(高橋・鳥居・林)が集まり、二人1組でパソコン投入作業を行ないました。

質問内容の骨子は下記の通り。

年齢・性別・職業 JR森田駅の利用状況と利用増加の方策
京福バスの利用状況と利用増加の方策 巡回バスの期待度と
利用条件(運賃・運行間隔・利用時間帯・利用目的地など)

アンケートの回収数が多いほど、作業時間が長くなるという、うれしい悲鳴状態(?)のジレンマをかかえながら、投入作業が終わったのは午後4時ごろ。回答数は約2700名(NHK世論調査数より多い)。最後まで投入作業をしていただいた高橋・鳥居さんお疲れ様でした。集計分析が楽しみです。ちなみに森田地区の人口と世帯数は下記の通り。

【人口】11,407人(男 5,455人 女 5,952人)

【世帯数】3,748 <2008年9月1日現在>

作/漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「11月からはワークショップ in 森田だー！」

塚谷(副編集長)

「逃がしたと思っていたら、受賞のノーベル賞。南部さん」

内田(発行責任者)

「株の暴落に、落ち着かない私です」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>